

# くすのき（自閉症・情緒障がい）学級 国語科学習指導案

日 時 平成28年12月15日（木）14時～

場 所 くすのき教室（南舎一階）

授業者

1 単元名 くすのきを伝えよう 「大造じいさんとガン」 椋 鳩十 作（5年教材）

## 2 単元について

### （1）教材について

狩人の大造じいさんは、ガンの頭領で油断なく気を配って仲間を守る残雪に敵意を抱き、闘志を燃やして様々な作戦を試みる。しかし、大造じいさんがおとりに仕立てて放った仲間のガンを救うために、人間の姿も無視してハヤブサに立ち向かう残雪を撃つことができず、結局は大造じいさん自ら深手を負った残雪の傷を癒して野に放ち、「おれたちは、また堂々と戦おうじゃないか」と再会を呼びかける。

指導にあたっては、

- ① 残雪の様子や行動に対する大造じいさんの心情の移り変わりを読み取る中で、大造じいさんの残雪に対する見方が大きく変わった場面を理由と共にとらえられるようにする。
- ② 情景から想像できる大造じいさんの心情を考えられるようにする。
- ③ 動物のしぐさや人間の動作、そのときの様子が細かくていねいに描かれている場面を言葉や表現に気をつけて読み、様子を想像できるようにする。

という5学年のねらいをふまえながら、本児なりに読んでくすのき（感動がこみあげてきた）ところが伝えられるように、工夫して指導したい。

### （2）児童の実態について

本学級児童の国語科における現在の指導段階（ ）以下の通りである。

内容 段階	聞く・話す		読む	書く
	（聞く）	（話す）		
1	(1)教師の話を読みたり、絵本などを読んでもらったりする。	(2)教師などの話し掛けに応じ、表情、身振り、音声や簡単な言葉で表現する。	(3)教師と一緒に絵本などを楽しむ。	(4)いろいろな筆記用具を使って書くことに親しむ。
2	(1)教師や友達などの話し言葉に慣れ、簡単な説明や話し掛けが分かる。	(2)見聞きしたことなどを簡単な言葉で話す。	(3)文字などに関心をもち、読もうとする。	(4)文字を書くことに興味をもつ。
3	(1)身近な人の話を聞いて、内容のあらましが分かる。	(2)見聞きしたことなどのあらましや自分の気持ちなどを教師や友達と話す。	(3)簡単な語句や短い文などを正しく読む。	(4)簡単な語句や短い文を平仮名などで書く。
4	(1)話のおおよその内容を聞き取る。	(2)見聞きしたことや経験したこと、自分の意見などを相手に分かるように話す。	(3)簡単な語句、文及び文章を正しく読む。	(4)簡単な手紙や日記などの内容を順序立てて書く。
5	(1)話の内容の重点を落とさないように聞き取る。	(2)目的や場に応じて要点を落とさないように話す。	(3)いろいろな語句、文及び文章を正しく読み、内容を読み取る。	(4)手紙や日記などを目的に応じて書く。
6	(1)話し手の意図や気持ちを考えながら、話の内容を適切に聞き取る。	(2)自分の立場や意図をはっきりさせながら、相手や目的、場に応じて適切に話す。	(3)目的や意図などに応じて文章の概要や要点などを適切に読み取る。	(4)相手や目的に応じていろいろな文章を適切に書く。

知的障がい者を教育する特別支援学校の「国語」の内容より作成

単元の指導にあたっては、場面や状況を分かりやすい絵や言葉でひとつひとつ順を追って確かめたり部分から全体へ説明を行ったりする、頭の中だけでイメージさせるのではなく、具体物や効果音、動作化等を用いながら言葉とつなげて読み取れるようにすると効果的であると考えます。

検査結果からも分かるように、5年生の本教材を用いた学習活動は困難を招くことも予測されるが、生活年齢なりに挑んでみたいという本人の意思を尊重しながら、大造じいさんの心情の変化を読み取り、くすのきを伝えたいというように指導したい。

### 3 研究内容とのかかわり（本時の指導にあたって）

#### （1）言語活動の充実を図る単元指導計画の工夫

単元を通して身に付けさせたい力の明確化

中心人物（大造じいさん）の心情の変化を読み取る力とする。

単元を貫く言語活動と1単位時間とのつながりの明確化

読む目的を明確にして内容を的確にとらえ、自分なりの考えを伝えられるようにしたい。

本単元では、単元を貫く言語活動を「ぐっときたところを伝えよう」とし、単元を通した言語活動を『大造じいさんとガン』を読んで、ぐっときたところを5年生に紹介しよう」と設定して、学習活動に意欲的に取り組む中で、文章を正しく読み取る力が身につくようにしたい。

#### （2）根拠をもとに自分の考えをもつための指導の工夫

「読み取りの技」を活用した指導の工夫（「読み取りの技」の明確化と活用のあり方）

物語文の読解で何より重要なことは、登場人物の心情（思っていることや考えていること）を正しく読み取ることである。通常の学級と同様に「会話文」「行動描写」「内言（心内）語」「副詞的表現」「情景描写」などに着目して心情の変化や心情が変化した根拠を考え、解釈が深まるようにしたいが、本児が一読後の感想で「大造じいさんが銃をうって血が流れたけど、ハヤブサを助けたことがよかった」と述べているように、内容を正しく読み取るための工夫が必要である。

指導にあたっては、根拠をもとに自分の考えをもつために、物語の叙述を確かに捉え、具体的にイメージできるように、「光村/サンエデュケーショナル」児童文学ライブラリーDVDにある「大造じいさんとガン」のアニメ画像を発売元に承諾を得てスライドやワークシートに用い、物語の叙述を具体的にイメージしながら学習できるよう試みた。



根拠や自分の考えのつながりが分かるまとめ方の工夫

各場面内容のポイントをつかむのに有効と考えるワークシートとスライド問題を作った。電子黒板で視覚や聴覚に働きかける提示をしながら、確かな読みにつなげたい。

< 3 場面前半のポイントと課題につながる考えをもつためのワークシート（前時） >

#### < ワークシートの問題 >

- ①「今年は一とつ、これを使ってみるかな。」の「これ」とは何のことですか。
- ②何に使ってみようとしたのですか。
- ③このガンがおとりになると大造じいさんが思ったのはなぜですか。
- ④おとりをえさ場に放ち、小屋で待ったのは、いつのうちと書いてありましたか。
- ⑤えさ場に下りたガンの鳴き声を聞いたときの大造じいさんの気持ちやしたことを書きましょう。
- ⑥「さあ、今日こそ…」をどんな声で表しますか。

<後半場面のポイントと課題につながる考えをもつためのスライド問題（本時用 スライドは抜粋）>

<スライドの問題>

大造じいさんが「どうしたことだ。」と言ったのはなぜですか。  
 大造じいさんが見たものは何でしたか。  
 大造じいさんは、「あっ。」と言います。なにに気づいたのでしょう。  
 ハヤブサの前に現れた大きなかげの正体は何でしたか。  
 大造じいさんが残雪をうたなかつたのは、どうしてだろう。  
 残雪が血を流してぐったりしているのはどうしてですか。  
 大造じいさんは、残雪を「ただの鳥」と思いましたか。



(3) 考えを深め、広めるための交流の場や形態の工夫

交流の場や形態の工夫（1単位時間の中での効果的な活用のあり方）

一人学級であり、1単位時間内での交流の場の設定そのものが難しいが、課題を含めたスライド問題が大造じいさんから出題されるという設定で行い、教師と一緒に考えていくことを通して考えを深められるようにしたい。

課題に迫るための必然性のある発問の工夫

本時の課題は、「大造じいさんがハヤブサと戦う残雪を見たときの気持ちを読み取ろう。」である。上記の～までをていねいに扱いながら、「大造じいさんは、残雪を『ただの鳥』と思いましたが。」と問い、大造じいさんが「ただの鳥」とは思えなかった、

- ①長い首を持ち上げて正面からにらみつけられたときの大造じいさんの気持ち
- ②手をのばしてもじたばたさわがなかったときの大造じいさんの気持ち
- ③残雪がおとりのガンを助けるためにハヤブサと戦ったときの大造じいさんの気持ち

を押さえ、深めの発問を『ただの鳥』でないなら、どんな鳥でしょうか。」として、仲間のためにハヤブサと命がけで戦い、最期になっても頭領として堂々としているすごい鳥という思いに至ったことに気付かせたい。

4 単元指導計画 ぐっときたところを伝えよう 「大造じいさんとガン」（全11時間）

【単元の指導目標】

場面の移り変わりに注意しながら読み、人物の行動、情景、会話などの表現に着目して読むことができる。 読(1)ウ

○物語から心に残った言葉や文を選んだり音読したりし、感想をまとめて交流することができる。 読(1)ア・エ・オ

(1) 単元で身につけたい力 単元の評価規準

【関】 想像を広げて読むことの楽しさに気づき、物語を読もうとしている。

【読】 ・時、場所、人物、出来事などに注意して、物語の大筋を読み取っている。

・文章の中から、問いとそれに対応する答えを見つけている。

・登場人物の行動から、場面の様子を想像して読んでいる。

・物語を読んで心に強く残ったところを感想にまとめている。

(2) 指導計画

次時	ねらい	学習活動	「読み取りの技」と着目させたい語句・叙述
1	<p>単元を貫く課題や言語活動をつくり、登場人物やあらすじを理解し、物語を読み取ることへの意欲をもつことができる。</p>	<p>初発の感想を書き、単元を貫く課題を作ろう。</p> <p>教師の範読を聞き、概要をつかむ。 初発の感想を書き、発表する。 ・ぐっときた・不思議に思った・話し合いたい 単元を貫く課題を設定し、学習の見通しをもつ。</p> <p>(単元を貫く言語活動) 『大造じいさんの残雪への思いを読み取って、ぐっときたところを伝えよう』 (単元を通じた言語活動) 『大造じいさんとガン』を読んで、ぐっときたところを5年生に紹介しよう』</p> <p>次時の活動を確かめる。</p>	<p>A 内言(心内語) B 会話 C 行動 D 情景 E 副詞的表現</p>
2・ 裁量	<p>全文を読み、場面ごとに小見出しをつけたり、新出漢字や難語句を調べたりできる。</p>	<p>場面構成をとらえたり難語句調べをしたりしよう。</p> <p>全文を読む。(一文リレー読み) 場面ごとに小見出しをつける。 新出漢字の練習や難語句等を調べる。 次時の活動を確かめる。</p>	<p>・かりゅうど ・栗野岳 ・ガンがり ・ウナギつりばり ・タニシを五俵ばかり ・おとり</p>
3	<p>今年こそという気持ちで特別な作戦に大きな期待をかけ、成功を確信している大造じいさんの気持ちを読み取ることができる。</p>	<p>学習課題をつかんで、1場面前半を読む。</p> <p>ウナギつりばり作戦のときの大造じいさんの残雪に対する気持ちの変化を読み取って朗読しよう。</p> <p>課題に対する一人読みをする。(ワークシート) 教師と交流して、読みを深める。 頭領らしいなかなかりこうなやつ いまいましく むねをわくわく 「しめたぞ。」 思わず子どものように声をあげて <b>深 たった一羽、しかも残雪がかかった訳ではないのに、 どうして大造じいさんは子どものように喜んだのだろう。</b> ・たかが鳥だから、また来るだろう。今度こそ残雪にやられずに成功するはずだ。 本時、ぐっときたところを考えて伝える。 大造じいさんの心情がよく分かる表現を選んで音読する。 次時の活動を確かめる。</p>	<p>・なかなかりこうなやつ (A) ・いまいましく (A) ・一晩中かかって (C) ・わくわく (A・E) ・「しめたぞ。」 (B) ・思わず子どものように声をあげて (C)</p>
4	<p>残雪をいまいましいと思いつつ、残雪のちえのすばらしさに感心する大造じいさんの気持ちを読み取ることができる。</p>	<p>前時を振り返る。 学習課題をつかんで1場面後半を読む。</p> <p>残雪にしかけを見破られた大造じいさんの気持ちを読み取ろう。</p> <p>課題に対する一人読みをする。(ワークシート) 教師と交流して、読みを深める。 秋の日が、美しくかがやいていました。「はてな。」 あの残雪が 「ううむ。」思わず感嘆の声をもらして <b>深くやしいはずなのに、どうして「思わず大造じいさんは感嘆の声をもらし」たのだろう。</b> ・たかが鳥だと思っていたがとてもりこうだと感心している。 本時、ぐっときたところを考えて伝える。 大造じいさんの心情がよく分かる表現を選んで音読する。 次時の活動を確かめる。</p>	<p>・秋の日が、美しくかがやいていました。(D) ・「はてな。」 (B) ・あの残雪が (A) ・「ううむ。」 (B) ・思わず感嘆の声をもらして (A・C・E)</p>

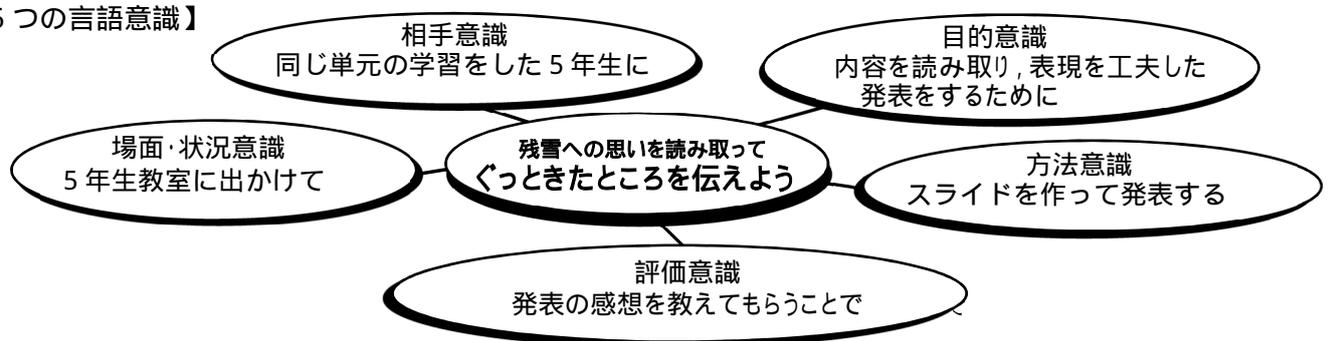
5	<p>今度こそと準備をして行った作戦が失敗して「ううん。」とうなって落胆する大造じいさんの気持ちを読み取ることができる。</p>	<p>前時を振り返る。 学習課題をつかんで2場面を読む。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>次の作戦が、また失敗してしまった大造じいさんの気持ちを読み取ろう。</p> </div> <p>課題に対する一人読みをする。(ワークシート) 教師と交流して、読みを深める。 夏のうちから そのまた翌日も 会心のえみ 「あかつきの光が、小屋の中にすがすがしく流れこんできました。」「しめたぞ...今年こそは...」 ぐっとにぎりしめ 「ううん。」 <b>深 1場面の「ううん。」と、この「ううん。」は、同じ気持ちだろうか。</b> ・1場面では、残雪のちえに感心。ここではくやしくてたまらない。またしても残雪にやられてしまって、どうしてよいかわからないという気持ち。 本時、ぐっときたところを考えて伝える。 大造じいさんの心情がよく分かる表現を選んで音読する。 次時の活動を確かめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏のうちから (C)</li> <li>・そのまた翌日も (C)</li> <li>・会心のえみ (A・C)</li> <li>・「あかつきの光が、小屋の中にすがすがしく流れこんできました。」 (D)</li> <li>・「しめたぞ...今年こそは...」 (B)</li> <li>・ぐっとにぎりしめ (C・E)</li> <li>・「ううん。」 (B)</li> </ul>
6	<p>「さあ、今日こそあの残雪めに...」という大造じいさんの、この作戦にかけ、残雪との戦いに意欲を燃やす気持ちの高まりをとらえて読み取ることができる。</p>	<p>前時を振り返る。 学習課題をつかんで3場面前半を読む。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>ガンの群れを待っているときの大造じいさんの気持ちを読み取ろう。</p> </div> <p>大造じいさんか次に考えた作戦とガンの群れを待っているときの気持ちを読み取る。(ワークシート) 教師と交流して、読みを深める。 これ 「うまくいくぞ。」 その夜のうちに 「さあ、いよいよ戦闘開始だ。」 東の空が真っ赤に燃えて、朝が来ました。わくわくしばらく目をつぶって心の落ち着くのを待ちました。 ぎゅっとにぎりしめました。「今日こそ、あの残雪めに...」 <b>深 大造じいさんが「今日こそ、...。」と言うのはなぜですか。</b> ・この作戦にかけているから。・うまくいきそうだから。 ・残雪に何としても勝ちたいという気持ちがあるから。 本時、ぐっときたところを考えて伝える。 大造じいさんの心情がよく分かる表現を選んで音読する。 次時の活動を確かめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「これを」 (B)</li> <li>・「うまくいくぞ。」 (B)</li> <li>・その夜のうちに (C)</li> <li>・「さあ、いよいよ戦闘開始だ。」 (B・E)</li> <li>・東の空が真っ赤に燃えて、朝が来ました。(D)</li> <li>・わくわく (A・E)</li> <li>・しばらく目をつぶって心の落ち着くのを待ちました。(C・E)</li> <li>・ぎゅっとにぎりしめました。(C・E)</li> <li>・「今日こそ、あの残雪めに...」 (B)</li> </ul>
7 (本時)	<p>「どうしたことだ。」「あっ。」に着目して、おとりのガンを助ける残雪をねらいながらも撃てなかった大造じいさんの心情をとらえ、死を覚悟しても頭領として堂々とした態度をとって行く残雪の姿に心をうたれ、残雪に対する思いが、「ただの鳥」という存在から、仲間のために勇敢に戦う立派な頭領へと変化していることを読み取ることができる。</p>	<p>前時を振り返る。 学習課題をつかんで3場面後半を読む。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>大造じいさんがハヤブサと戦う残雪を見たときの気持ちを読み取ろう。</p> </div> <p>ハヤブサと戦う残雪を見た大造じいさんの気持ちを読み取る。(スライド問題) 教師と交流して、読みを深める。 「どうしたことだ。」「ハヤブサだ。」「あっ。」 残雪ですが、何と思ったか、再びじゅうを下ろしてしまいました。 強く心を打たれて、ただの鳥に対してしているような気がしませんでした。 <b>深 「ただの鳥」でないなら、残雪はどんな鳥なのか？</b> ・仲間のためにハヤブサと命がけで戦い、最期になっても頭領として堂々としているえらい鳥。 本時、ぐっときたところを考えて伝える。 大造じいさんの心情がよく分かる表現を選んで音読する。 次時の活動を確かめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「どうしたことだ。」(B)</li> <li>・「ハヤブサだ。」(B)</li> <li>・「あっ。」(B)</li> <li>・残雪です。</li> <li>・が、何と思ったか、再びじゅうを下ろしてしまいました。(C)</li> <li>・強く心を打たれて、ただの鳥に対してしているような気がしませんでした。(A・E)</li> </ul>

8	<p>呼びかけの会話文や情景描写, 行動描写から, 残雪の快復を喜ぶ気持ちと惜別の思い, 再会を期する大造じいさんの気持ちを読み取ることができる。</p>	<p>前時を振り返る。 学習課題をつかんで4場面を読む。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>大造じいさんはどんな気持ちで残雪をおりから出したのかを読み取ろう。</p> </div> <p>課題に対する一人読みをする。 教師と交流して, 読みを深める。 ある晴れた春の朝 いっばいに開けてやりました。 らんまんと... 「おうい, ガンの英雄よ。...えらぶつを...」 「おれたちは, また堂々と戦おうじゃあないか。」 大きな声で...呼びかけ 晴れ晴れとした顔つき いつまでも いつまでも見守って <b>深「いつまでも」をくり返し, 「見ていました。」でなく「見守っていました。」と書いてあるのはどうしてだろう。</b> ・治ってよかったな。寂しくなるけど, 無事でくらせよ。また戻って来いよ。そして堂々と戦おう。 本時, ぐっときたところを考えて伝える。 大造じいさんの心情がよく分かる表現を選んで音読する。 次時の活動を確認める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いっばいに開けてやりました。(C)</li> <li>・らんまんと...(D)</li> <li>・「おうい, ガンの英雄よ。...えらぶつを...」(B)</li> <li>・「おれたちは, また堂々と戦おうじゃあないか。」(B)</li> <li>・大きな声で...呼びかけ(C)</li> <li>・晴れ晴れとした顔つき(A・C)</li> <li>・いつまでも いつまでも見守って(C)</li> </ul>
<p>☐ 9 10 ・ 裁 量</p>	<p>物語を読んで心に残った言葉や文を選んで音読したりスライドを作ったりし, 感想をまとめて交流する準備をすることができる。</p>	<p>学習課題を確認める。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>ぐっときたことが伝わる発表を工夫して作ろう。</p> </div> <p>ぐっときた場面を選んで発表スライドを作る。 サウンドレコーダーで録音する。 聞き直して満足のいくものに仕上げる。 次時の活動を確認める。</p>	
11 ・ 裁 量	<p>5年生に発表し, 自分の感動が伝わったかどうか感想を聞いて確かめることができる。</p>	<p>学習課題を確認める。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>5年生に発表し, 自分の感動が伝わったかどうか感想を聞いて確かめよう。</p> </div> <p>5年生に自分の感動を伝える発表する。 自分の感動が伝わったかどうか5年生に感想を聞いて確かめる。 次時の活動を確認める。</p>	

(3) 単元を貫く言語活動

単元の課題... 『大造じいさんの残雪への思いを読み取って, ぐっときたところを伝えよう』

【5つの言語意識】



5 本時の展開

(1) 本時のねらい

「どうしたことだ。」「あっ。」に着目して, おとりのガンを助ける残雪をねらいながらも撃てなかった大造じいさんの心情をとらえ, 死を覚悟しても頭領として堂々とした態度をとっていく残雪の姿に心をうたれ, 残雪に対する思いが, 「ただの鳥」という存在から, 仲間のために勇敢に戦う立派な頭領へと変化していることを読み取ることができる。

(2) 本時の展開 (7 / 11)

	ねらい	学習活動・児童の反応 個に応じた指導、援助	根拠をもとに自分の考えをもつための工夫：ア 考えを深め、広めるための交流の場や形態の工夫：イ
つかむ	<p>この作戦にかけ、残雪との戦いに意欲を燃やす大造じいさんの気持ちの高まりを思い出すことができる。</p> <p>本時の学習課題が分かり、本文を読み返し、個人追究することができる。</p>	<p>3場面前半の学習内容を見て、おとり作戦にける大造じいさんの心情を思い出す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おとり作戦で、今度こそ、絶対にやっつけてやるという気持ちだった。3場面前半の学習内容が分かるスライドを見ながら話すように促す。</li> <li>本時の学習課題を確認し、3場面後半を読む。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><b>大造じいさんがハヤブサと戦う残雪を見たときの気持ちを読み取ろう。</b></p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・画像や音声入りのスライドの文章を見ながら、一文リレー読みする。</li> <li>課題に対するひとり読みをする。(ワークシートの問題を考えて書く。)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電子黒板で展開していく。</li> <li>・課題提示は、「ハヤブサと戦う残雪を見たときのわしの気持ちを読み取ってくれよ。」という呼びかけ形式でよい、意欲を引き出す。</li> </ul> <p>ア スライド問題は、文字枠を設けたり、絵資料をもとに考えられるようにしたりする。</p> <p>ア 順にスライドを提示しながら進め、一緒に考える中で、場面の様子や大造じいさんの気持ちをとらえやすくする。</p>
考える	<p>自分なりに考えた答えを紹介することができる。</p>	<p>ア 順にスライドを提示しながら進め、一緒に考える中で、場面の様子や大造じいさんの気持ちをとらえやすくする。</p>	<p>ア イ 動作化を促したり、生活経験を想起させたりする中で考えを確かにしたり広めたりできるようにする。</p>
深める	<p>頭領としての堂々とした残雪の姿に心をうたれ、残雪に対する思いが、「ただの鳥」という存在から、仲間のために勇敢に戦う立派な頭領へと変化していることを読み取ることができる。</p>	<p>おとりを飛び立たせるための口笛を吹く前に、ガンが飛び立ってしまったから。ハヤブサ。 おとりのガンが飛び遅れ、ハヤブサに狙われると気づいた。 残雪。 ・仲間を救おうとする姿を見て、そういう時に撃つのはずるいと思ったから。 ・大造じいさんが自分で仕掛けた方法で残雪に勝ちたかったから。 ・自分たちの命を奪ってしまうためのおとりだった鳥の命を救おうとしている残雪を見て、それを横から撃つ気にはならなかったから 等。 ハヤブサとの戦いで血を流し、今にも死にそうになっているから。 ただの(普通の)鳥とは思わなかった。</p> <p>の発問では、次の3点を押さえる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①長い首を持ち上げて正面からにらみつけられたときの大造じいさんの気持ち</li> <li>②手をのばしてもじたばた騒がなかった時の大造じいさんの気持ち</li> <li>③残雪がおとりのガンを助けるためにハヤブサと戦ったときの大造じいさんの気持ち</li> </ol> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>深めの発問 「ただの鳥」でないなら、残雪はどんな鳥なのですか。」</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(仲間を助けるために一生懸命戦う)すごい鳥。</li> <li>・堂々としている鳥</li> </ul> <p>本時の課題のまとめを考え、ぐっときたところを伝える。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>評価規準 会話や行動描写、心情表現などから、仲間を助けるために命を懸けてハヤブサと戦い、傷を負っても堂々としている残雪を見て、ただの鳥からすごい鳥だと大造じいさんの見方が変わったことを読み取っている。</p> </div>
まとめる	<p>課題のまとめを考えて話したり、ぐっときたところを選んで音読したりできる。</p> <p>がんばりを振り返り、次時の学習活動への見通しがもてる。</p>	<p>大造じいさんは、おとり作戦を考えて、今日こそ残雪をうってやると思っていたけど、仲間を助けるためにハヤブサと戦い、けがをしても堂々としている残雪を見て、やっぱり、ただの鳥ではないと思うようになった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・残雪が仲間を助けるためにハヤブサと戦ったところ。</li> </ul> <p>自分なりの考えを伝えた場合は即時的に称賛し、音読する場所を一緒に決める。</p> <p>ぐっときたところを音読する。</p> <p>気持ちを込めて音読できた場合は即時的に称賛する。また、漢字の読みや文節の区切り方等、戸惑う場合は、さりげなく補助する。</p> <p>時間があれば、サウンドレコーダーで録音して聞き直す。</p> <p>次時の活動を確かめる。</p> <p>4場面の大造じいさんの言葉の中にも答えが2つあると伝え、本時の活動で見つけたよさを話す。</p>	